ワイズギア スパンカー

20～27ft用／27～33ft用

取付・取扱説明書

⚠ 警　告

下記1～3を厳守しないと、艇体の取付部及びスパンカーの破損による人体的損傷のおそれがあります。

1　出航前には、マストを支えているサイドステーロープと船首側のフォアーステーロープを黒いテンショナーでしっかり張ってください。(8ページ　【4】-(2)(3)参照)
2　台風等の強風時には、スパンカーを取り外し、デッキにロープ等でしっかり固定願います。
3　セイルを収納後、セイルエンドロープで必ず結んで、風でセイルが再び展開しないようにしてください。

このたびは、ワイズギア スパンカーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
この製品は、20～27フィートおよび27～33フィートのフィッシング艇用に開発された巻取式のスパンカーです。流し釣りの際にご利用ください。

●製品の取り付け・操作を行う前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、充分に内容を理解してください。
●この取扱説明書は大切に保管し、何時でも見られるようにしておいてください。

目　次

安全上のご注意 2
商品の特長・スパンカー効果・艇のコントロール 3
各部の名称と付属品の確認 5
取付前の確認 6
取付方法 7
展開方法 10
セイルとブームの調整 12
収納方法 13
お手入れ 13
スパンカーによる船の流し方 14
パーツリスト 18
オプション 20
保証書 ..... 巻末

発売元　株式会社ワイズギア

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

また、安全にご使用いただくために、次のような内容で使い分けてあります。

⚠ 警 告 ： この表示はその警告に従わなかった場合、死亡または重傷に至る可能性が想定される項目に使用します。

⚠ 注 意 ： この表示はその注意に従わなかった場合、障害に至る可能性または物的損害の発生が想定される項目に使用します。

いずれも安全に関する項目ですので、必ず守ってください。

⚠ 警 告

- ●航行中や強風および旋回時は、セイルを収納してください。ボートが風にあおられ、転覆するおそれがあります。
- ●後方から強風を受けると過大な力が発生し、スパンカーや艇体が破損するおそれがあります。
- ●セイルの展開時および収納時には、各ロープをしっかりと張ってください。ロープが緩んでいると、ブームの回転やブームとマストの破断によりケガをするおそれがあります。
- ●別売の可倒式ヒンジベースを取り付けた場合についても、起倒後はブームとマストの固定をしっかりと行ってください。
- ●サイドステーロープのフックをトランサムステップなどの船外に取り付ける際は、落水のおそれがありますので注意してください。

⚠ 注 意

- ●取り付けには、専門の技術が必要です。取り付けはお買い上げの販売店に依頼してください。
- ●幼児・子供に操作させないでください。また、同乗者に操作させる場合は、船長の責任下にて行ってください。
- ●スパンカーの高さより低い橋脚の下を通る場合は、別売の可倒式ヒンジベースを取り付けてください。
- ●ロープの摩耗を定期的に点検し、外皮がめくれてきたら交換してください。
- ●月1回定期的にマストの付け根（回転部）に、グリーススプレーを塗布してください。

商品の特長・スパンカー効果・艇のコントロール

商品の特長

1） ドラムロープ1本を引っ張るだけで、セイルの収納・展開が簡単にできます。

2） ロープとテンショナーの採用により部品点数が軽減され、組み立てが容易になりました。

3） マストのサイドステーを張っていてもマストが回転しやすいよう、マスト上・下部にベアリングを装備しています。

4） マストのフォアーステーおよびサイドステーロープは、高強度で低伸度のカラフルなダイニーマロープを使用しています。

5） マストステップ下部には、海水排出孔を設け、防蝕対策をしています。

6） マストステップとマストの干渉部には、傷付き防止のため40mm幅のシーリング材を貼って保護しています。

7） マストのサイドステーロープには、脱着操作が簡単なJフックを採用しました。

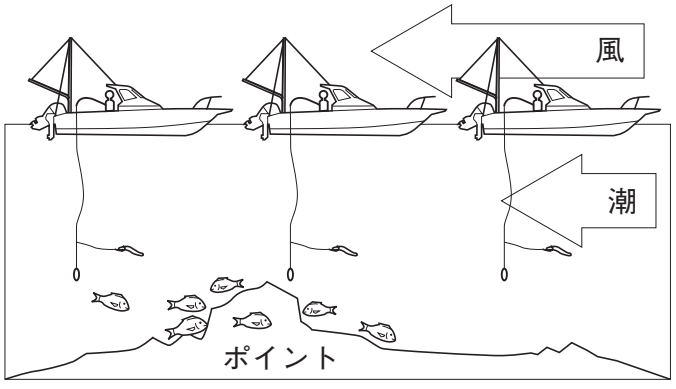
8） マストとブームアイストラップの固定リベットは、シリコンを使用して防蝕対策を施しています。

9） 可倒式ブラケットの固定ピンは、脱着操作を簡単にするため、スナップピンでリング止め方式を採用しました。

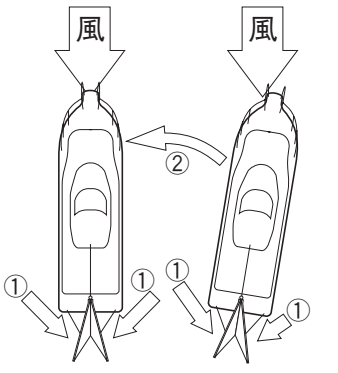
スパンカー効果

流し釣り（アンカーリングをしない釣り）で、船首を風上方向に向けて艇を潮と一緒に流す（図A）際には、スパンカーを張り船首を風上に向ける（図B）ことで、風によってスパンカーに↘（図Bの①）の向きの揚力を発生させる事が出来ます。

この力は、船首が風上に近い方向にある場合には、この揚力で船首を風上に向ける力←（図Bの②）が 働きます。



図A

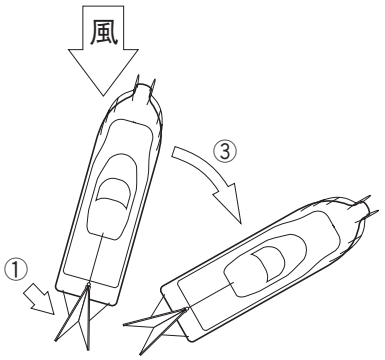


船首の振れ角度が小さければ
船首は風上に戻る

図B

艇のコントロール

風向きと船首の振れ角度が小さければ、前ページBの右図の様に船首は風上に戻りますが、艇の振れ角度が大きくなると下図Cの様にスパンカーの揚力(①)が小さくなり、船首を風下に向けようとする力(③)が大きくなるため、船首を風上にコントロールし、保持することができなくなります。したがって、風向きが変わったり船首が波などで振られた場合には、早い段階で、シフト・スロットル・ステアリングの操作を行って船首向きの補正が必要となります。



船首の振れ角度が大きくなると
船首は風下に流れてしまう

図C

各部の名称と付属品の確認

下記の付属品が揃っていることを確認してください。

梱包は

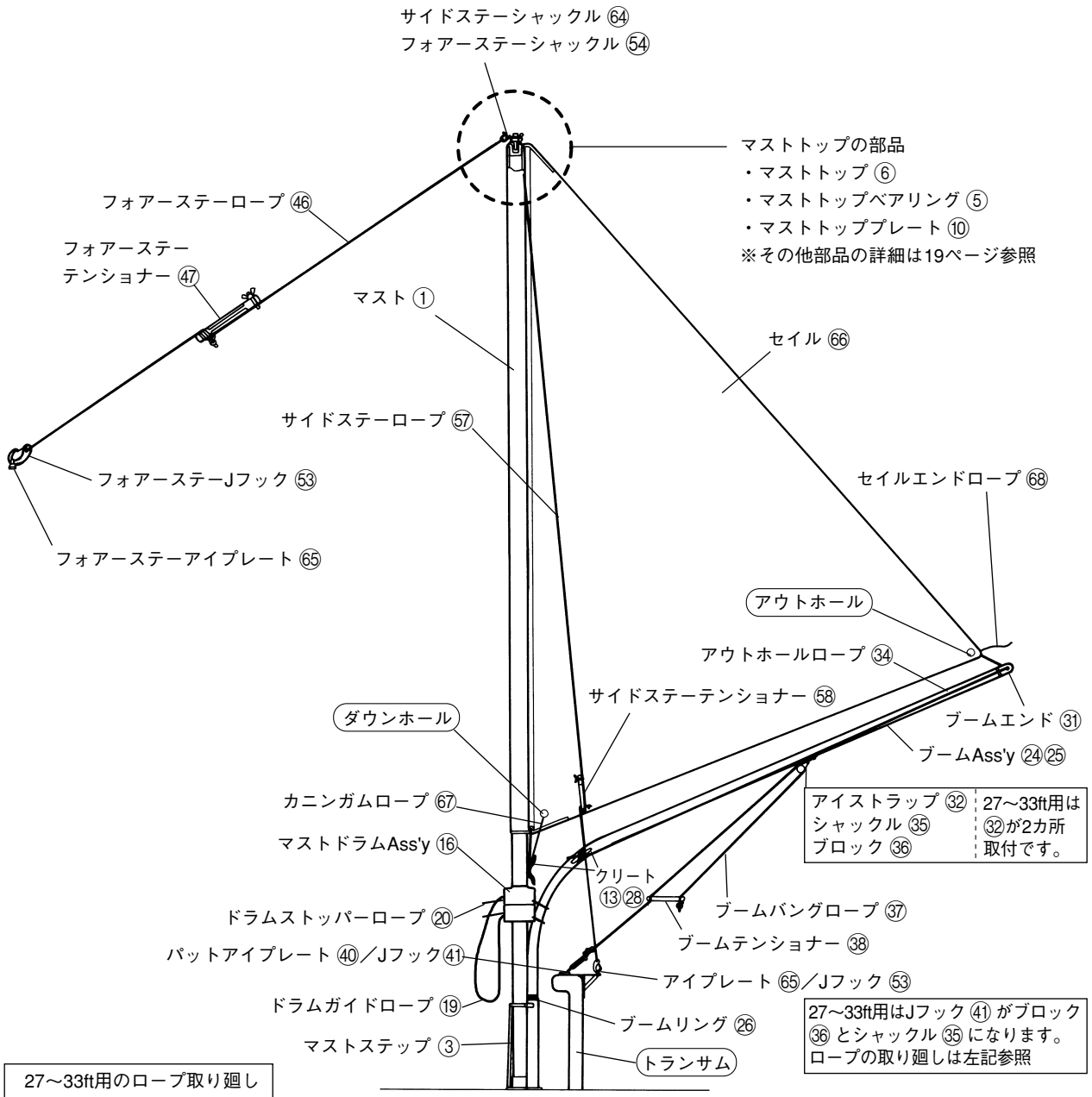
・マストAss'y

・ブームAss'y 2本

・マストステップ

の3梱包です。マストAss'yは組み立てられた状態です。

ブームAss'yは、ブームエンド ㉛ アイストラップ ㉜ クリート ㉘ が取付済みです。マストステップの箱の中には艇体に取り付ける部品が入っています。詳細部品と各個数は、パーツリスト（18～19ページ）を参照してください。



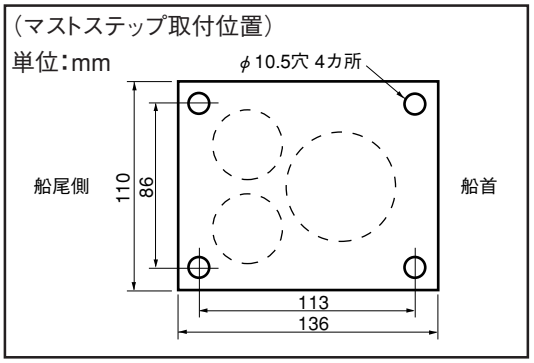
（デッキフロアーに取付可能な場合の取付例）

取付前の確認

【1】マストステップ取付位置

マストステップはデッキ（下図 ❶ ）及びスターンブルワーク（下図 ❷ ）に取り付けますので、右記の取付穴位置を確認し、取付位置を確定してください。

（マストステップ取付位置）

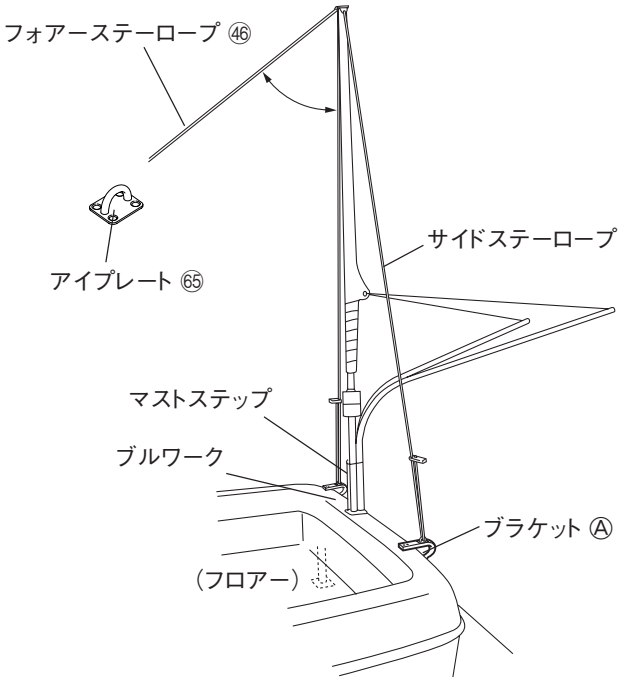


【2】アイプレートの取付位置

・ フォアーステーロープ ㊻ 、アイプレート ㊺ は艇体キャビン上面のセンターに取り付けます。その際、テンショナーが容易に操作できるところへ取り付けると便利です。

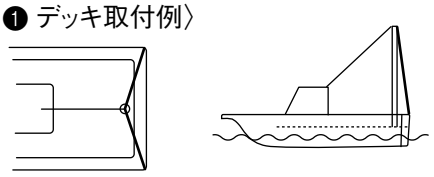
・ ブルワークに取り付けの場合、サイドステーの角度がボートの側面から見て3度以上になるように、又サイドステーのアイプレートは、マストより後方に25cm以上の位置に取り付けてください（下図 ❷ ）。
ブルワークにブラケット Ⓐ を現地にて艇に合わせ制作し、取り付けてください。

・ オプションで可倒式ヒンジベースを取り付けた場合は、サイドステーの脱着が必要になりますので、アイプレートをトランサムステップに取り付けない方が便利です。

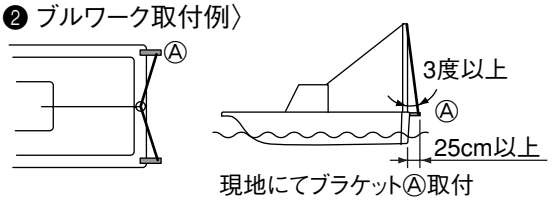


取付要点

〈 ❶ デッキ取付例〉

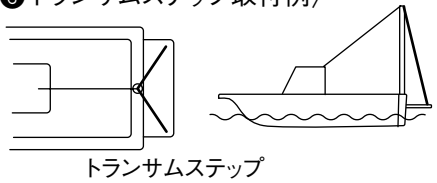


〈 ❷ ブルワーク取付例〉



現地にてブラケットⒶ取付

〈 ❸ トランサムステップ取付例〉



トランサムステップ

⚠ 注 意

・ 各サイドステーの角度が指示値より小さいと、マストに負荷が掛かり、損傷の原因となります。

・ マストステップ、アイプレート、パットアイ、現地制作ブラケットの取付面の裏側には、次ページに示す補強材を必ず入れて貫通ボルトで固定してください。

取付方法

【1】マストステップの取り付け

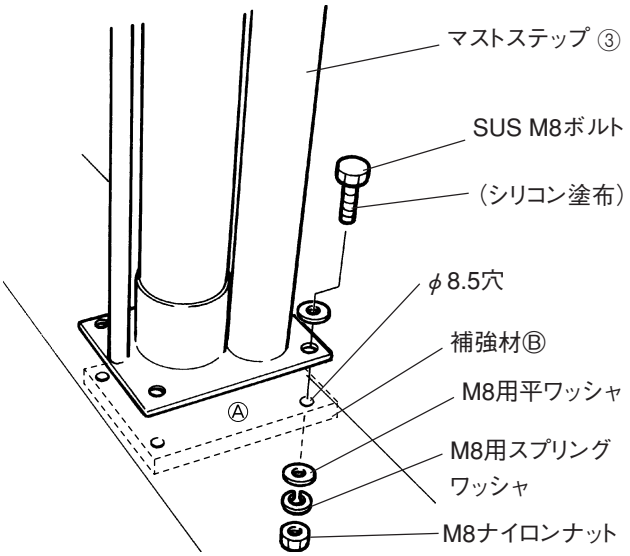
FRPのフロアーまたはブルワークトップに取り付ける場合について説明します。

（1）取付面の裏側には補強材Ⓑ等を入れ、取付面の補強を現地で施行してください。

（2）ボートの中心線とマストステップ ③ の中心線を合わせ、取付穴位置を確定します。

（3）φ8.5mmのドリルを使用し、フロアーまたはブルワークトップに4つの取付穴をあけます。

（4）SUS製M8ボルトを現地にて用意し、ボルトにシリコンを塗布し、貫通ボルトを入れて裏から平ワッシャ・スプリングワッシャ・ナットで固定します。

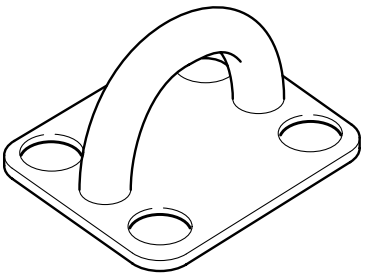


【2】アイプレートの取り付け

前頁で確定したアイプレート取付位置に、ステー・ロープを艇体に固定するためのアイプレート ⑮ ×5を取り付けます。

（サイドステー用×2個、ブームロープ用×2個、フォアーステー用×1個）

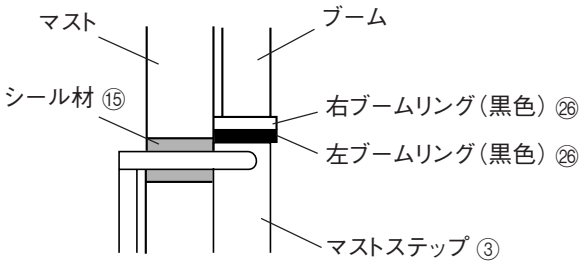
ボルトは（丸頭）を使用してください。



【3】マストおよびブームの取り付け

・マストステップにマストと左右のブームを差し込み、マストとマストステップ上面と干渉する部品に同梱のシール材 ⑮ を貼ってください。

・左右のブームに、ブームリング ㉖ を入れてください。左右が段違いになりますが、それが正しい付け方です。



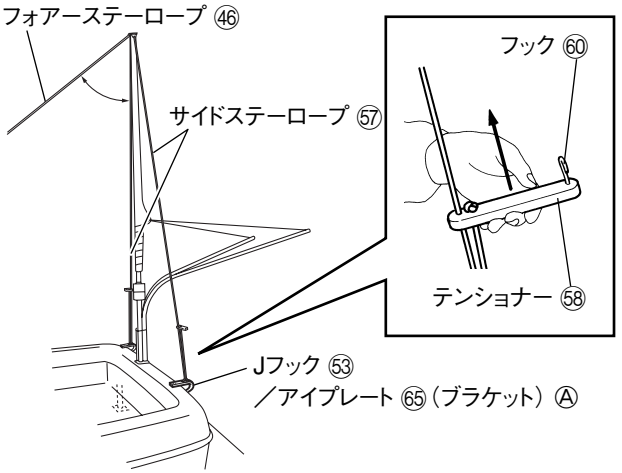
【4】サイド・フォアーステーの装着

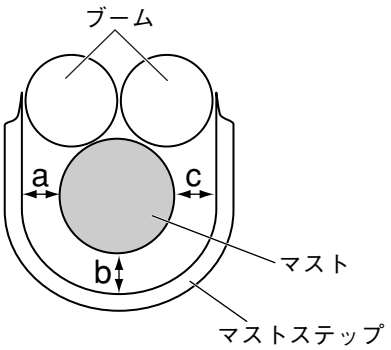
(1) 左右サイドステーロープ ㊼ の長さを確定して切断し、下部のJフック ㊸ 2個にもやい結びで取り付けます。
その後、Jフック ㊸ を、左右のアイプレート(ブラケット)に掛けます。

(2) 左右サイドステーのテンショナー ㊽ を左右均等に引き上げて張り、テンショナーのフック ㊿ をサイドステーに掛けてロックします。

(3) 同じくフォアーステーロープのテンショナーを引っぱり、テンショナーのフックをフロントステーに掛けてロックします。

要　点
・マストとマストステップとの隙間が各方向均等になるようにサイド／フォアーステーの張りを調整してください。マストが廻りやすくなります。





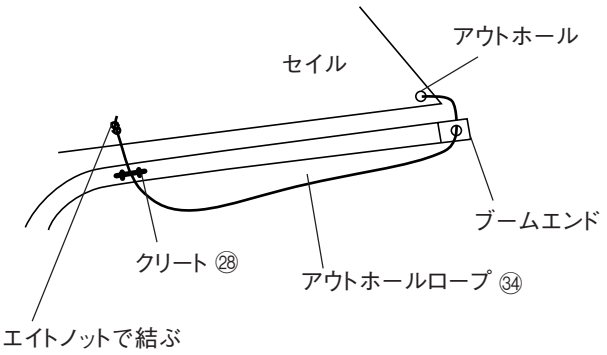
a～cの隙間は同じにする。

マスト上面図

【5】アウトホールロープの取り付け

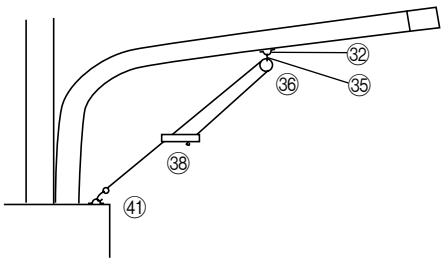
・アウトホールロープ ㉞ の片端を、セールのアウトホール穴に、もやい結びで短く結びます。

・ロープのもう片端は、右図のように、ブームエンドの先端の穴に内側から通し、クリート ㉘ の中央穴に通します。アウトホールロープの先端は抜けないようにエイトノット結びをして抜け止めします。



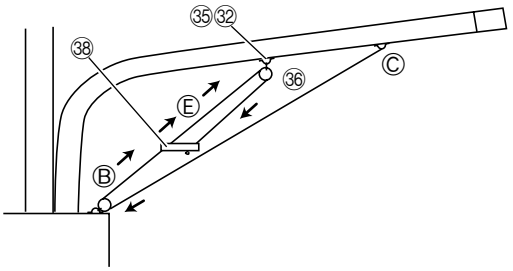
【6】ブームバングロープの取り廻し方法

ブームバングの取り付け
（20～27ft用）



- ブロック ㊱ にシャックル ㉟ を付けアイストラップ ㉜ に取り付け
- Jフック ㊶ にブームバングロープを付ける
- テンショナー ㊳ にロープを通し、ブロック側より回ってきたロープをテンショナーのもう一方の穴に通し長さを確定し、ロープ端部をエイトノット結びで結ぶ

ブームバングの取り付け
（27～33ft用）



- ブロック ㊱ にシャックル ㉟ を付け、アイストラップ ㉜ に取り付け
- ブームのアイストラップ Ⓒ にブームバングロープをもやい結びで結ぶ
- ブロック Ⓑ に通す
- テンショナー ㊳ にロープを通し、ブロック ㊱ 側より回ってきたロープをテンショナーのもう一方の穴に通し長さを確定し、ロープ端部をエイトノット結びで結ぶ

展開方法

⚠ 注　意
セイルを展開する前には、必ずサイドステーロープ ㊼ とフォアステーロープ ㊻ の張り具合を確認してください。ゆるんでいた場合は、再度テンショナーを張ってください。(8ページ【4】参照)

【1】セイルの展開準備

(1) ドラム ⑱ の上側に、予めドラムガイドロープ ⑲ が20～27ft用は6回、27～33ft用は8回巻き付けられていることを確認します。

(2) ドラムカバーのストッパーロープ ㊽ を、左右ブームに固定します。

(3) ブームバングロープ ㊲ のJフック ㊶ 2個を、トランサム左右のアイプレートに掛け、ロープを少し緩めておきます。

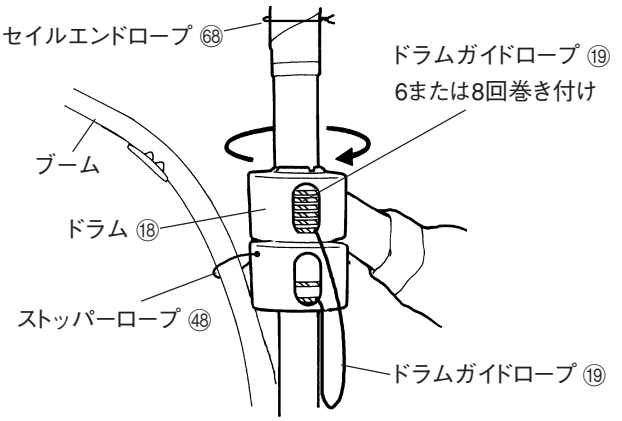
(4) セイルエンドロープ ㊽ を外します。

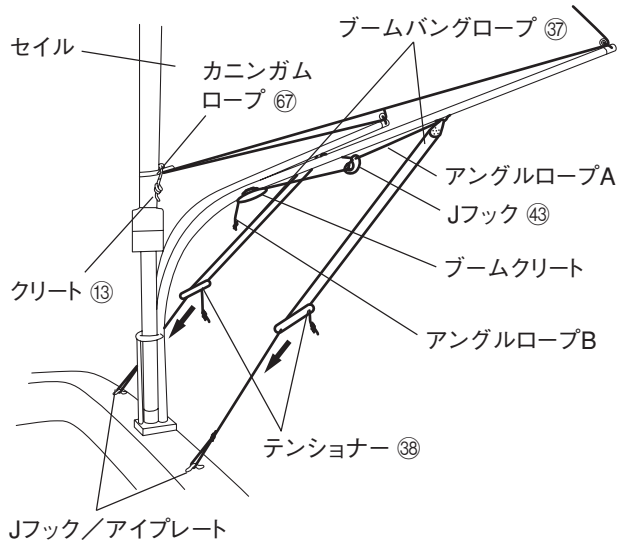
要　点
・ セイルの回転がスムーズでない時は、マストとマストステップとの隙間が各方向均等になるようにサイド&フォアステーの張りを調整してください。(8ページ【4】参照)

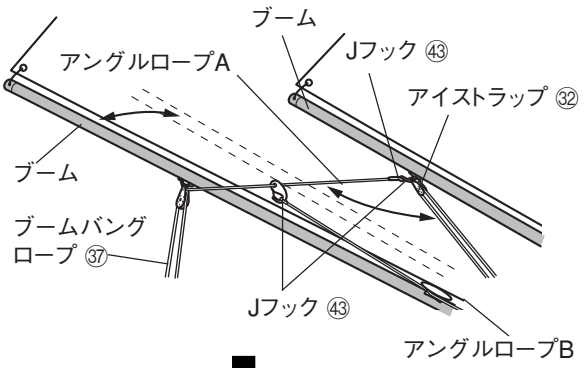
(5) ブームアングルロープ ㊷ 2mを1mずつ(A･B)に切断します。

(6) アングルロープAの中間に、開き角度調整用のJフック ㊸ を結びます。
切断した1mのアングルロープAの両端にJフック ㊸ をもやい結びで付け、Jフック ㊸ を左右ブームのアイストラップ ㉜ にそれぞれ取り付けます。

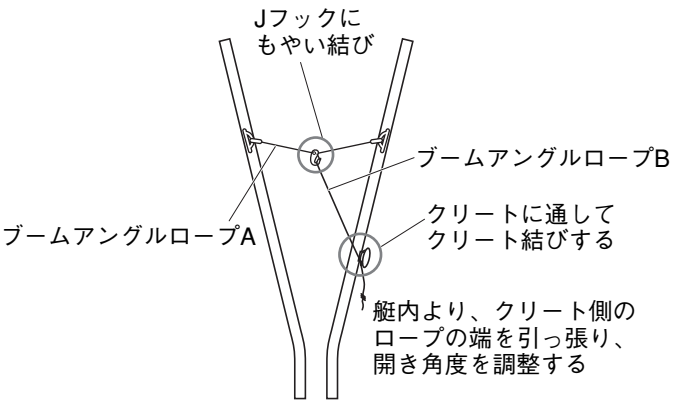
(7) 切断したもう片方のブームアングルロープBを、ブームの角度調整用として、右図の様に展開します。





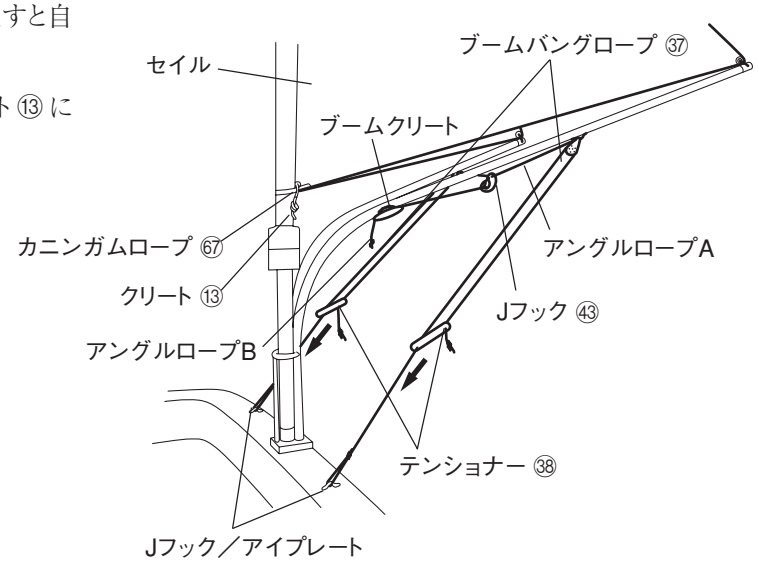


(ブーム上面図)



(8) 左右のブームバングロープ ㊲ のテンショナー ㊳ を引き下げて張ります。テンショナーから手を離すと自然に固定されます。

(9) カニンガムロープ ㊼ を下方向に引き、クリート ⑬ にクリート結びで固定します。

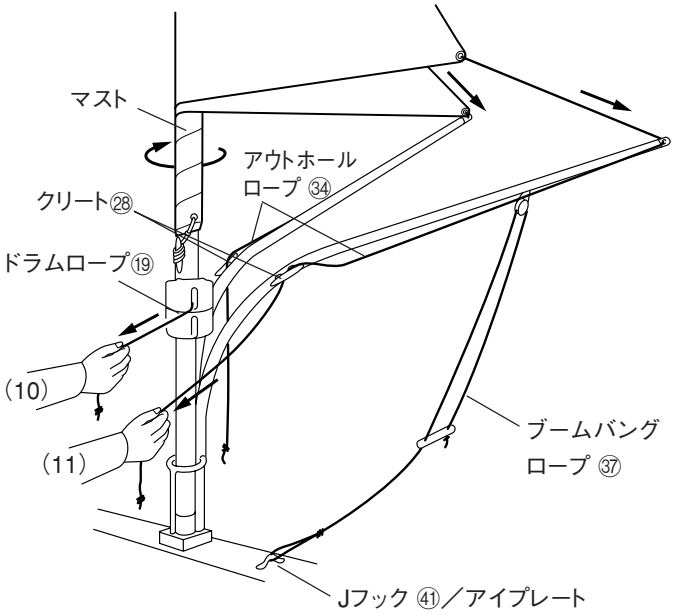


(10) 上側のドラムロープ ⑲ を引き、セイルを展開します。
セイルはバタバタしますが、素早くアウトホールロープ ㉞ をバウ側へ片手で引きます。

(11) セイルがブームエンドまで展開されたら、アウトホールロープ ㉞ をブームのクリート ㉘ にクリート結びで固定します。

⚠ 注 意

アウトホールロープのエンド(端)は、ブームのクリートから抜けないようにエイトノット結びにしておいてください。アウトホールロープが抜けると、船上からは修復取付が不可能となります。



セイルとブームの調整

【1】ブーム開き角度の調整方法

⚠ 注　意
風が強い場合はブーム角度を狭く、風が弱い場合はブーム角度を広くして出港してください。

ブーム角度を狭くするとき

（1）左右のブームバングロープ ㊲ のテンショナー ㊳ を緩めます。

（2）ブームアングルロープBの端を艇側よりひっぱります。

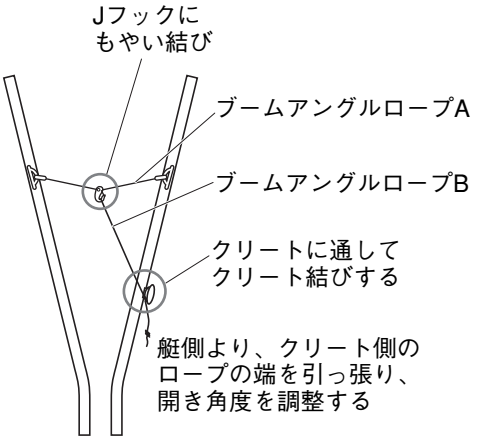
（3）再び左右のブームバングロープ ㊲ のテンショナー ㊳ を張ります。

風が弱まり再びブーム角度を広くするとき

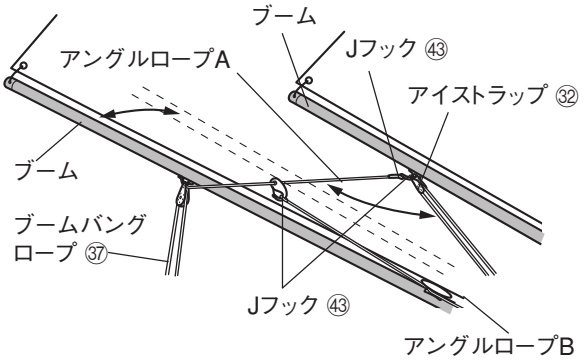
（1）左右のブームバングロープ ㊲ のテンショナー ㊳ を緩めます。

（2）ブームアングルロープBの端を緩めます。

（3）再び左右のブームバングロープ ㊲ のテンショナー ㊳ を張ります。

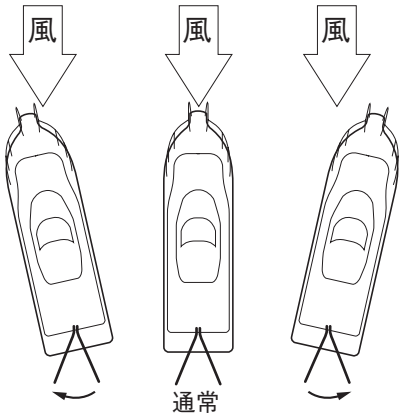


（ブーム上面図）



【2】ブームの向き調整

頻繁に船首が振られ、ステアリング操作が煩雑だと釣りの楽しさも半減です。スパンカーを左右に振ることにより、風に対する船首の向きを調整することができます。スパンカーのセールの角度やステアリングを少しずつ振ってみて、最もステアリング操作が楽な向きを探してください。潮や風、釣り方によって風上に真っ直ぐに向けた方が良い場合もあれば、風上から少し船首に角度をもたせた方が良い場合もあります。



スパンカーを左舷に向けたい場合（ ➡ ）

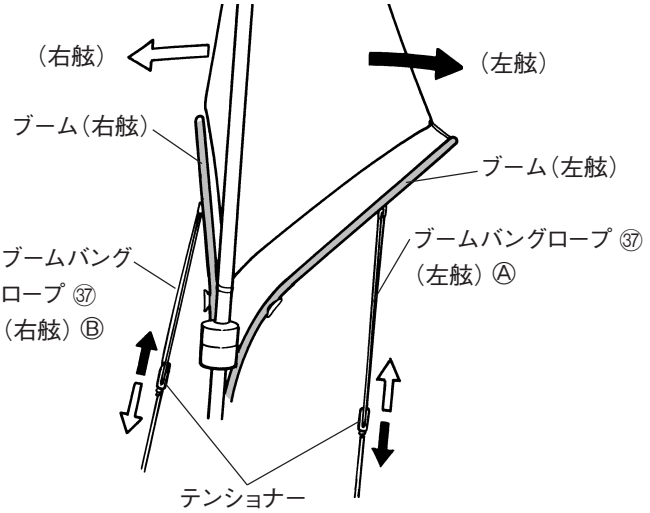
（1）右舷のブームバングロープ ㊲（右図Ⓑ）のテンショナーを緩めます。

（2）左舷のブームバングロープ ㊲（右図Ⓐ）のテンショナーを張ります。

スパンカーを右舷に向けたい場合（ ⇦ ）

（1）左舷のブームバングロープ ㊲（右図Ⓐ）のテンショナーを緩めます。

（2）右舷のブームバングロープ ㊲（右図Ⓑ）のテンショナーを張ります。



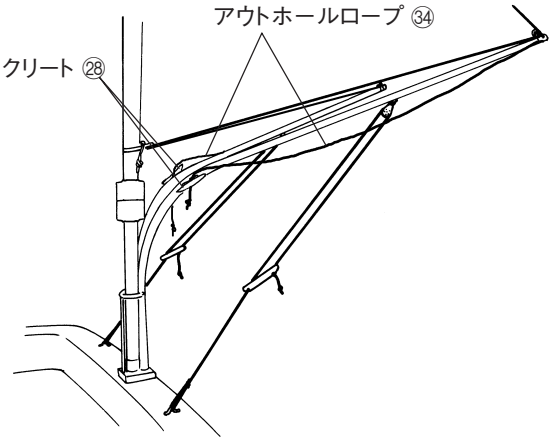
収納方法

【1】セイルとブームの収納

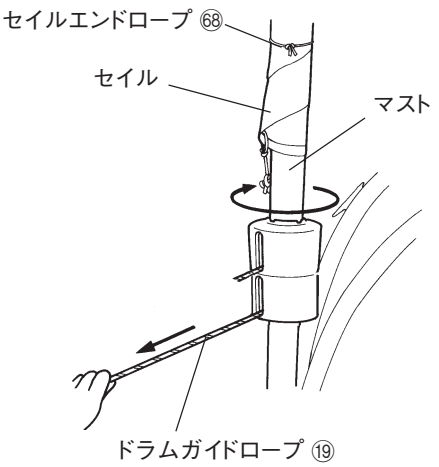
(1) ブームのクリート ㉘ に固定してあるアウトホールロープ ㉖ を外します。

(2) 下側ドラムガイドロープ ⑲ をバウ側へ引きます。マストが回転し、セイルが収納されます。
収納後、ドラムガイドロープ ⑲ をブームのクリート ㉘ にクリート結びしてください。

(3) セイルエンドロープ ㊽ をマストに巻き付けて固定します。



⚠ 注 意
艇の保管中に、セイルエンドロープ ㊽ の固定を怠ると、強風時にスパンカーが風をはらみ、スパンカーや船体が大きなダメージを受けます。必ず、右図の様にセイルエンドロープ ㊽ でセイルを巻き結んでください。

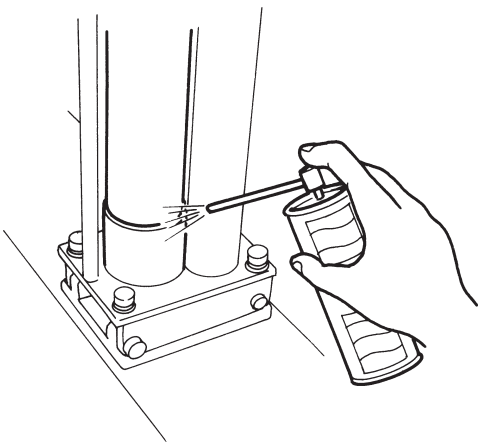


お手入れ

【1】グリーススプレー塗布

月1回定期的に、マストの付け根（回転部）にグリーススプレーを塗布します。このお手入れを行わないと、回転部が塩で固着し、セイルの展開・収納が困難になります。

ヤマハ・グリーススプレー：90790-73602



【2】ロープの摩耗点検と交換

定期的に、ロープの摩耗を点検し、外皮がめくれてきたら交換します。スムーズなセイル展開・収納に支障をきたします。

⚠ 警 告
切れ掛かったロープを使い続けると、突然の衝撃でロープが切れ、マストやブームが倒れてケガをするおそれがあります。

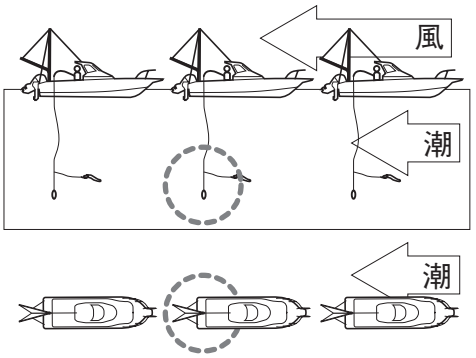
スパンカーによる船の流し方

はじめに

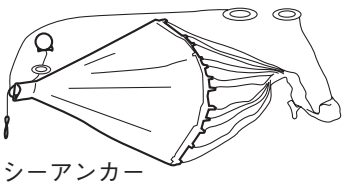
従来、「流し釣り」と言えば微速装置の付いたインボード（船内機）艇で行なうものというイメージがありました。これに対し船外機艇は流し釣りに向いていないと言われていました。
しかし船外機艇であってもYFシリーズに代表されるヤマハのウエイブ・スラスター・ブレード付きフィッシングボートなら、良好な風流れ抑止性能を発揮するため、ハイレベルな流し釣りを実現することができますので、船外機艇でも流し釣りを楽しんでください。

流し釣りとは

流し釣りとは、船が風で押されて流されるのを、ステアリング操作とボートの推力調節をする事によって相殺し、潮と同調させて船を流す釣り方です。
ボートが潮と同調して流れている場合、二枚潮などの場合を除き、海中の道糸は真っ直ぐ、垂直に垂れています。下図は、潮の流れと風向きが同一の場合のボートの動きをイメージしたものです。



流し釣りはステアリング操作と、ボートの推力調整だけで出来るものではありません。
スパンカーやシーアンカー、ボートの推力調整用の専用原動機（エレキモーターや船外機など）を装備する事によって船首を風上に立てる流し釣りが可能となります。

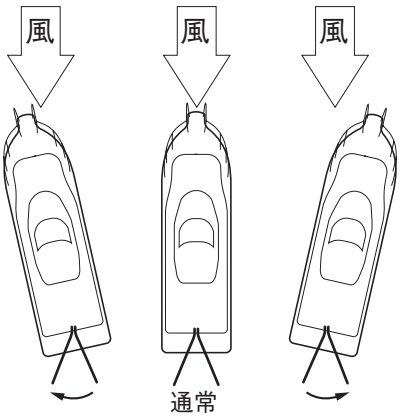

シーアンカー

但しエレキ（電動モーター）を使用する場合のバッテリー容量の管理や、シーアンカーでのパラシュートの揚げ降ろしのような手間が必要となります。ここでは、一般的に遊漁船などで普及しているスパンカーを使っての流し釣りを紹介します。

流し釣り操船のコツ

釣りに集中するためには、ボートを流す時の操船の負担を極力少なくすることが重要です。
ここでは、スパンカーを使った流し釣りにおける、ちょっとした操船のコツをご紹介します。

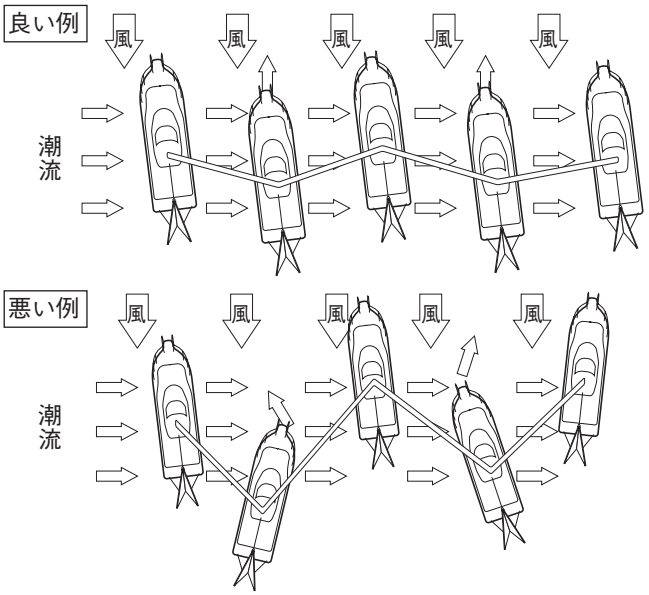
1. スパンカーのセール（帆）はしっかりと張ります。
   張りがあまいと風立ちが悪くなります。
2. 頻繁に船首が振られ、ステアリング操作が煩雑だと釣りの楽しさも半減です。スパンカーのセールの角度やステアリングを少しずつ振ってみて、最もステアリング操作が楽な向きを探してください。
   潮や風、釣り方によって風上に真っ直ぐに向けた方が良い場合もあれば、風上から少し船首に角度をもたせた方が良い場合もあります。



要　点
スパンカーを左右に振ることにより、風に対する船首の向きを調整することができます。

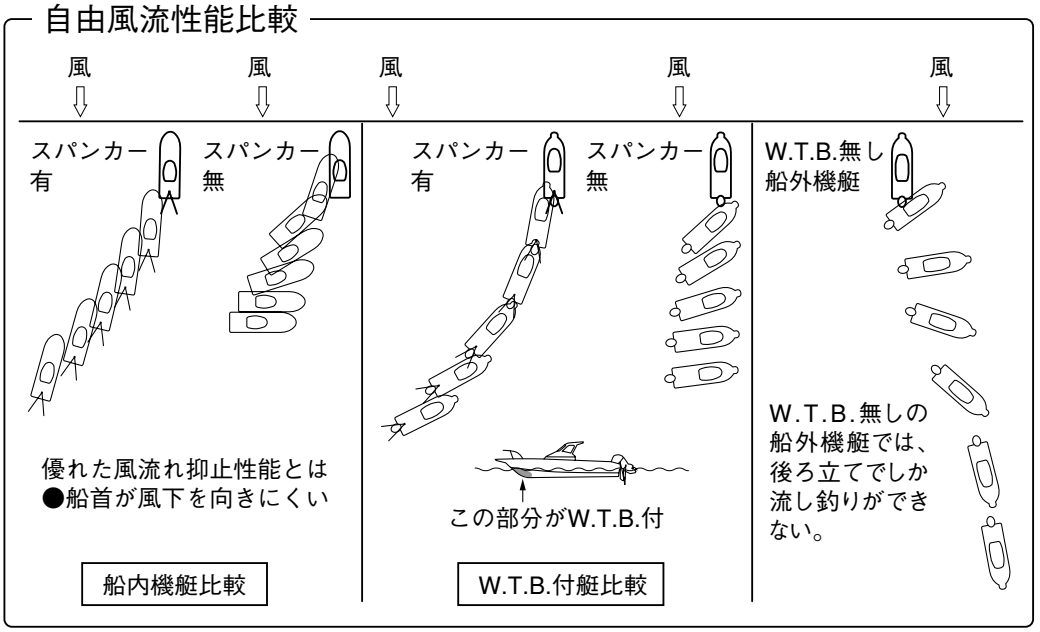
3.ボートの向きが変わってから、シフトおよびスロットルを操作するのでは修正に時間がかかってしまいます。ボートの次の動きをイメージして早めに対処することがポイントです。
風見をつけておくと、船の振られ方が予測できます。

要　点
船が風で押される前にシフトを入れるイメージ。 船に行き足がつくまえにシフトを抜くイメージ。

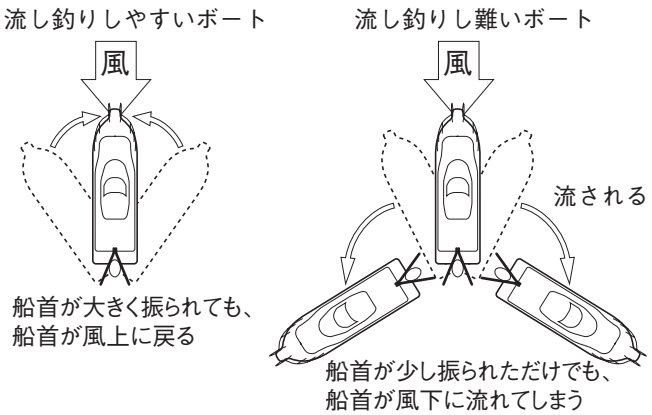


スパンカーを使った流し釣り

スパンカーを装備していても、ボートは風で押されて流されます。ステアリング操作とボートの推力調整をしなければ、ボートは風に流されてしまい、船首を風上に立てることはできません。(右図参照)



同じタイプ(大きさ)のスパンカーを装着していても、流し釣りのしやすさはボートによって異なります。船首が大きく振られても船首が風上に戻るボートであれば船首向きのコントロールがし易いため、流し釣りがし易い船と言えます。逆に、波や風で船首が少し振られただけで、船首が風下に流れてしまうボートでは、船首向きのコントロール(修正)で手一杯となり釣りどころでは無くなってしまいます。したがって、流し釣りを楽しむためには、ボートの選択が非常に重要となります。従来タイプの船外機艇は、船首を風上に戻すことのできる振れ角の範囲が非常に狭く、流し釣りに向いているとは言えませんでしたが、ヤマハの新世代フィッシングボートF.A.S.T.26や、YFシリーズでは、独自のウエイブ・スラスター・ブレード(W・T・B)が優



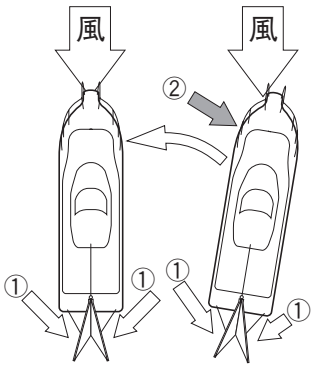
れた風流れ抑止性能を発揮するため、良好な風立ち性を実現し、流し釣りに対応可能な性能を持ちあわせています。

要　点
スパンカーを装備しても適切な操船をしなければ流し釣りはできません。 重要な操船のポイントは以下の2点となります。 1.シフト及びスロットル操作で、船が風で押されて流されないようにする。 2.スパンカー向き及びステアリング操作で、船首を風上へコントロールし、保持します。

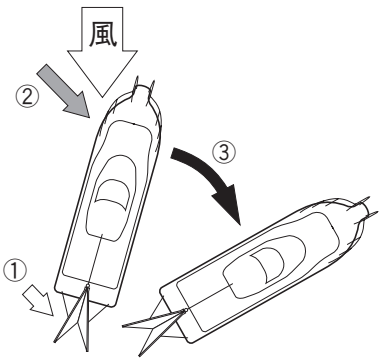
スパンカーを張り船首を風上に向けると、風によってスパンカーには図の矢印（①⇨）の向きに揚力が発生します。

この力は、船首が風上に近い方向にある場合には、船首を風上に向ける方向に働きますが、船首が風上から振れると、風がハルやブリッジの片面に当り、船首を風下に向けようとする力（②⇨）が発生します。

風向きと船首の振れ角度が小さければ、船首は風上に戻りますが、振れ角度が大きくなるとスパンカーの揚力が小さくなり、船首を風下に向けようとする力が大きくなるため、船首を風上にコントロールし、保持することができなくなります。したがって、風向きが変わったり船首が波などで振られた場合には、早い段階で船首向きの補正が必要となります。



船首の振れ角度が小さければ
船首は風上に戻る



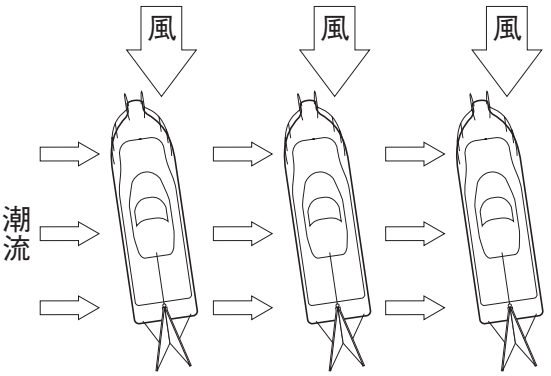
船首の振れ角度が大きくなると
船首は風下に流れてしまう

要　点
「風立ち性が悪いボートでも大きなスパンカーを立てればいいんじゃないの?」 確かに大きなスパンカーを装着すれば風立ち性は向上しますが、あまりに大きなスパンカーを装着すると、取り扱いしにくいばかりか、強風時には操船不能に陥ったり、最悪の場合、横風を受けて転覆する恐れもありますので、船の長さに応じたスパンカーサイズのものを装着するようにしましょう。 安全はもちろんですが、取り扱いの面からもボートが風に立つ範囲でスパンカーは小さいにこしたことはありません。 その点からも、風立ち性に優れた基本性能を持つボートを、選択することが重要と言えます。

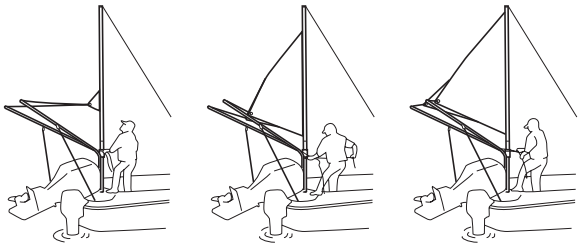
さあ流し釣りに行きましょう

船もスパンカーも揃ったら、流し釣りに行きましょう。

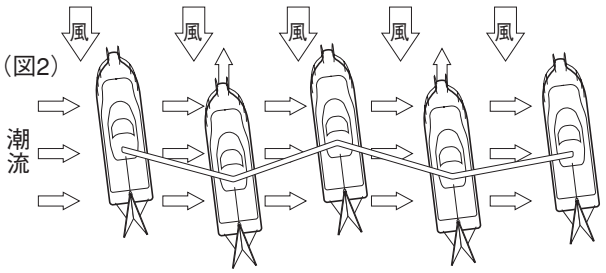
1. まず、ポイントに到着したら、潮流や風向を確認し、どこのポジションからどの方向に流すかをシミュレーションしてください。



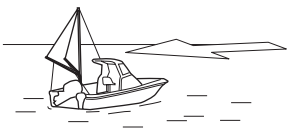
2. スパンカーのセールを張りましょう。
   その前に補機操船の場合は補機を下ろし、主機をチルトアップしてください。
   セールの張り方によって、風立ち性が変わりますので、セールをしっかり張るようにしてください。

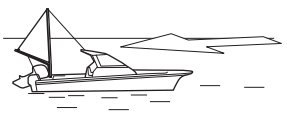


3. ポイントの潮上にボートを操船し船首を風上に向けます。
4. ボートが風で押されて流されるのをステアリング操作とボートの推力調整によって相殺し、潮と同調させてボートを流します。
   風の強さは一定ではないので、推力の調整のためには、こまめにシフトとスロットルの操作が必要です。(図2参照)



5. また、風向が変わった場合や波で船首が振られた場合は、船首が大きく流される前に素早く修正することが必要です。
   流し釣りを楽しむにあたっては、当日のコンディションや周囲の船の状況にも十分な注意が必要です。風や潮流の強さや向きによっては、同じ場所であっても非常に難しい場合もありますので、経験と技術を磨き、流し釣りをエンジョイしてください。





6. スパンカーをたたみ、帰港しましょう。
   補機操船の場合は主機を下げ、補機をチルトアップしてください。

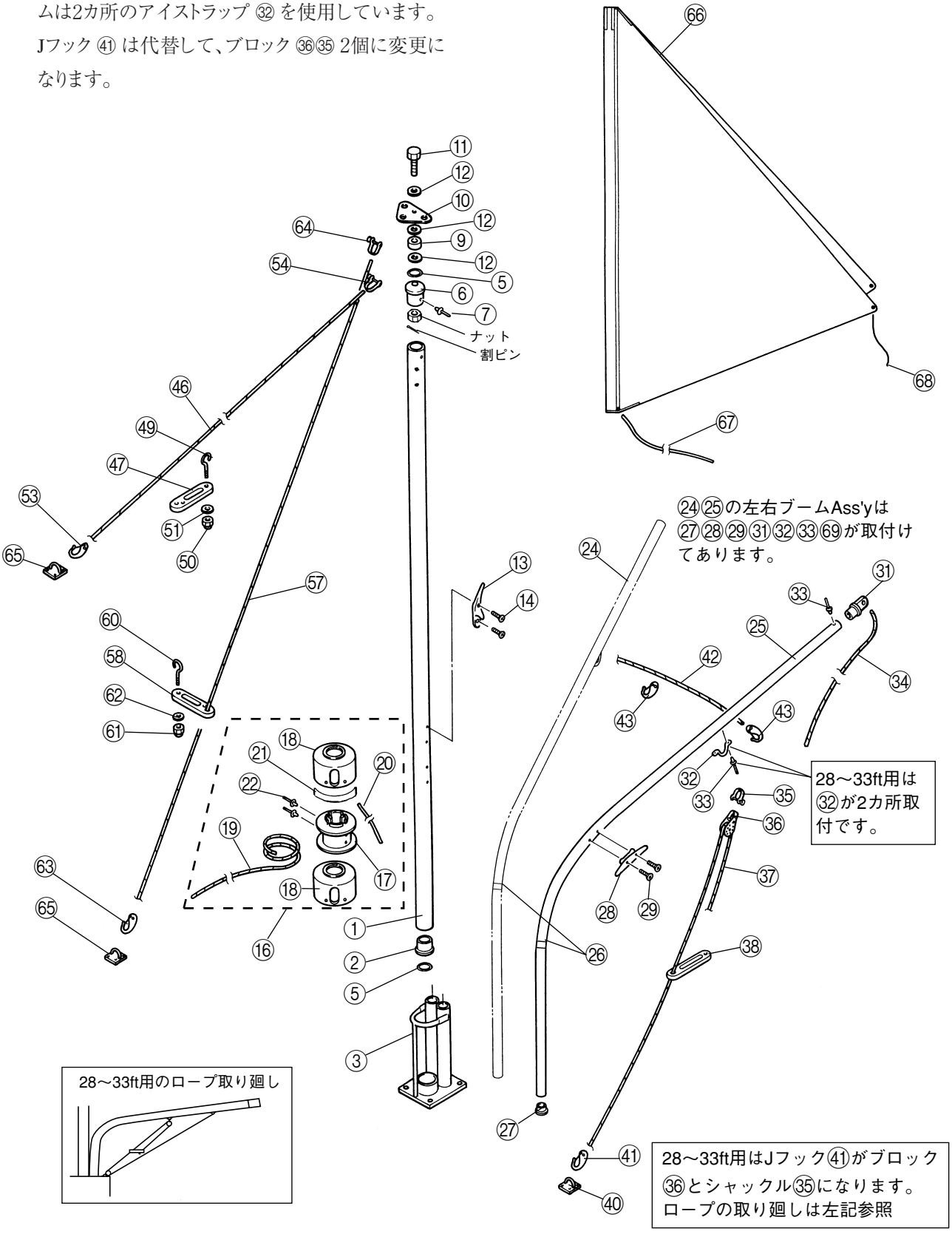
要　点
艇やスパンカーやその他の装備品により風流れ性能が異なります。風流れが悪い(船首が振られ易い)場合、頻繁なステアリング操作が必要となるため、艇はもちろんスパンカーの大きさ等、艤装品は慎重な選択が必要です。

パーツリスト

20～27ft用スパンカー　品番:90790-82170

28～33ft用スパンカー　品番:90790-82180

28～33ft用スパンカーは、ブームが長いため、ブームは2カ所のアイストラップ ㉜ を使用しています。
Jフック ㊶ は代替して、ブロック ㊱㉟ 2個に変更になります。

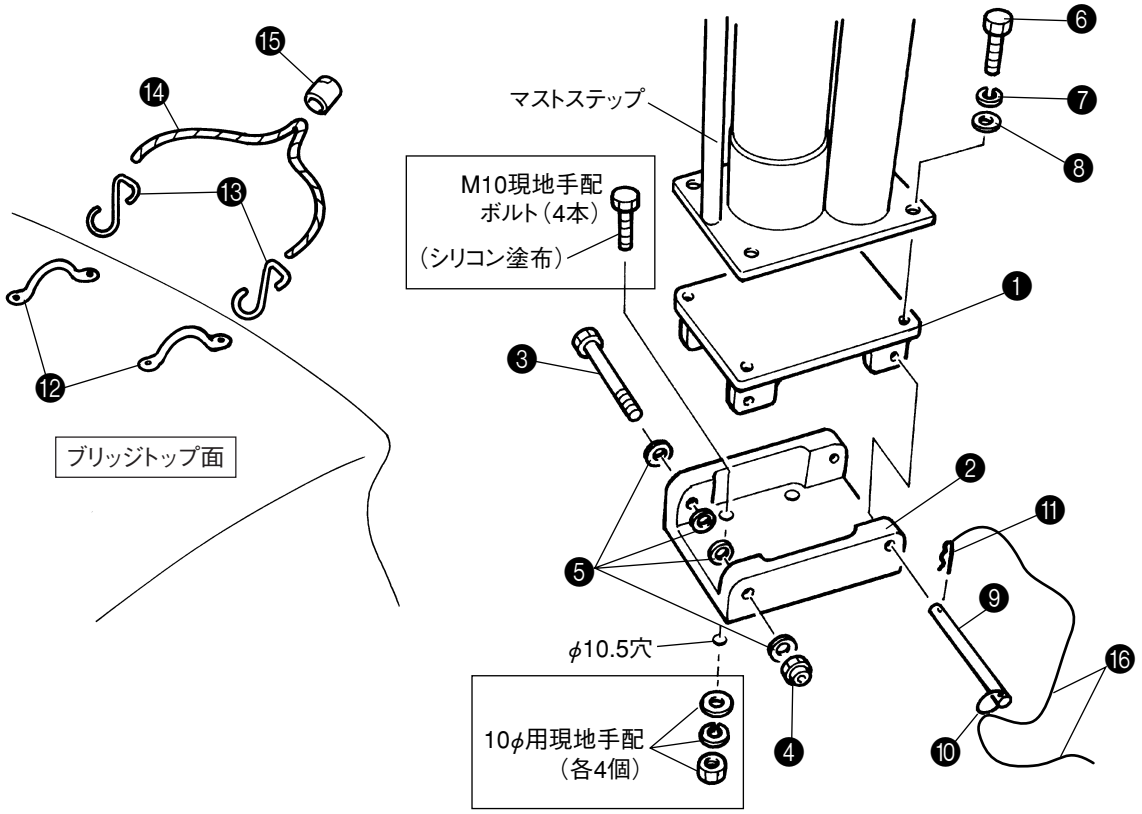


ｶﾃｺﾞﾘｰ	No.	部品番号	部品名称	個数	備考
マスト	1	90790-80101	マスト(20～26ft用)	1	φ55×t2.5×L3700
		90790-80161	マスト(27～33ft用)	1	φ55×t2.5×L4300
	2	90790-80103	マストボトム	1	
	3	90790-80121	マストステップ	1	
	5	Q8T-SAS-001-005	マストベアリング上・下	2	
	*	非売品	マストシール材	1	40mm幅
マストトップ	6	90790-80102	マストトップ	1	6ナイロン
	7	90267-48938	マストトップリベット	1	SUS4.8×8
	9	90790-80124	マストトップスペーサー	1	25×t12×10
	10	90790-80123	マストトッププレート	1	SUS304
	11	99880-10550	マストトップボルト	1	M10×55
	12	92990-10200	マストトップワッシャ	3	M10
	13	90790-80165	マストクリート110(ジャム)	1	6ナイロン
	14	97780-50312	マストスクリューボルト	2	
マストドラム	16	90794-82161	マストドラムAss'y		
	17	･90790-80141	・マストドラム	1	
	18	･90790-80142	・マストドラムカバー	2	
	19	･90794-52076	・マストドラムガイドロープ	1	φ6×4m
	20	･90790-80139	・マストドラムストッパーロープ	1	
	21	･非売品	・ドラムベルト	1	
	22	･90267-48940	・マストドラムリベット	8	SUS4.8×18
ブーム	24	90790-80191	ブームAss'y R500 6063-T5 右(20～27ft用)	1	35×t2×1160
		90790-80193	ブームAss'y R500 6063-T5 右(28～33ft用)	1	35×t2×1160
	25	90790-80190	ブームAss'y R500 6063-T5 左(20～27ft用)	1	35×t2×1161
		90790-80192	ブームAss'y R500 6063-T5 左(28～33ft用)	1	35×t2×1161
	26	･90790-80169	・ブームリング	2	
	27	･90790-80112	・ブームボトム	2	
	28	･90790-80172	・ナイロンクリート110	2	
	29	･97780-40130	・スクリューボルト	4	M4×30
	31	･90790-80115	・ブームエンド	2	6ナイロン
	32	･90790-80116	・アイストラップ8mm	2	SUS311(20～27ft用2個､28～33ft用4個)
	33	･90790-80170	・リベット5～8mm	6	4.8×12mm(20～27ft用4本､28～33ft用8本)
	34	90790-80134	アウトホールロープ	2	φ6×4m　テトロン16打
	35	90601-50312	シャックル	2	5mm
	36	90601-00011	ブロック35mm	2	SUS307
	37	90794-52161	ブームバングロープ	2	φ8×3m(20～27ft用), φ8×4m(28～33ft用)
	38	90790-80137	テンショナー	2	
	40	90790-80167	パットアイプレート	2	SUS304　6mm
	41	90794-58397	Jフック	2	50mm(28～33ft用は㊱×2個,㉟×2個)
	42	90790-80138	ブームアングルロープ	1	φ4×2m
	43	90794-58397	ブームアングルJフック(ブーム･センター取付用)	2	SUS305
	44	90794-58397	ブームアングルJフック	1	
マストステー	46	90794-80143	フォアーステーロープ(黄または緑)	1	φ4.5×5m(20～27ft用), φ4.5×5.5m(28～33ft用)
	47	90790-80137	フォアーステーテンショナー	1	
	49	90790-80144	フォアーステーフック	1	
	50	98880-04700	フォアーステーフックナット	1	
	51	92990-04100	フォアーステーフックワッシャー	1	
	53	90794-58397	フォアーステーJフック	1	
	54	90601-50312	フォアーステーシャックル	1	
	65	90790-80167	フォアーステーパットアイプレート	1	
	57	90794-80143	サイドステーロープ(黄または緑)	2	φ4.5×5m(20～27ft用), φ4.5×5.5m(28～33ft用)
	58	90790-80137	サイドステーテンショナー	2	
	60	90790-80144	サイドステーフック	2	
	61	98880-04700	サイドステーフックナット	2	
	62	92990-04100	サイドステーフックワッシャー	2	
	63	90794-58397	サイドステーJフック	2	
	64	90790-50312	サイドステーシャックル	2	
	65	90790-80167	サイドステーパットアイプレート	2	SUS304　6mm
セール	66	90790-80120	セールクロス＆補修材(20～26ft用)	1	ダクロン　4.5オンス
		90790-80162	セールクロス＆補修材(27～33ft用)	1	ダクロン　4.5オンス
	67	90794-52051	セールカニンガムロープ	1	φ5×1m
	68	90790-80171	セールエンドロープ	1	

オプション

【1】可倒式ヒンジベースAss'y　品番:90790-82153

入出航時に、低い橋を通過しなければならない時の、マストを可倒するためのオプション品です。



No.	部品番号	部品名称	個数	備考
1	90790-82154	ヒンジベースアップ	1	
2	90790-82155	ヒンジベースロワー	1	
3	90790-82156	6角ボルト	1	M8×140
4	90185-08004	ナイロンナット	1	M8
5	92990-08200	ワッシャ	4	M8
6	90790-80168	6角ボルト	4	M8×15
7	92990-08100	スプリングワッシャ	4	M8
8	92990-08200	ワッシャ	4	M8
9	90790-82157	ピン	1	8×140
10	A39-66559-00	ピン	1	
11	90790-82158	割ピン	1	
12	A00-61543-90	アイストラップ6mm	2	SUS311
13	90890-87290	S環	2	φ3
14	90790-80139	ロープ	1	φ2.5×1m
15	90790-80166	カネMロック	1	
16	90790-80139	ピン，スナップピンロープ		φ2.5×1m

※下記の黒丸数字(❶ ～ ⑯)は、可倒式ヒンジベースAss'y(20ページ)の番号です。

【2】可倒式マストステップ(オプション)の取り付け

(1) ボートの中心線とヒンジベースロワー ❷ の中心線を合わせ、取付穴をケガキます。

(2) φ10.5mmのドリルを使用し、フロアーまたはブルワークトップに4つの取付穴をあけます。

(3) SUS製M10ボルト4本を艇体の取付面の厚さに合わせて現地にて用意します。ボルトにシリコンを塗布し、裏からナイロンワッシャ ❺ ・スプリング・ワッシャ・ナットでヒンジベースロワー ❷ を固定します。

(4) ヒンジベースアップ ❶ に付属のM8ボルト ❻ でマストステップを取り付けます。

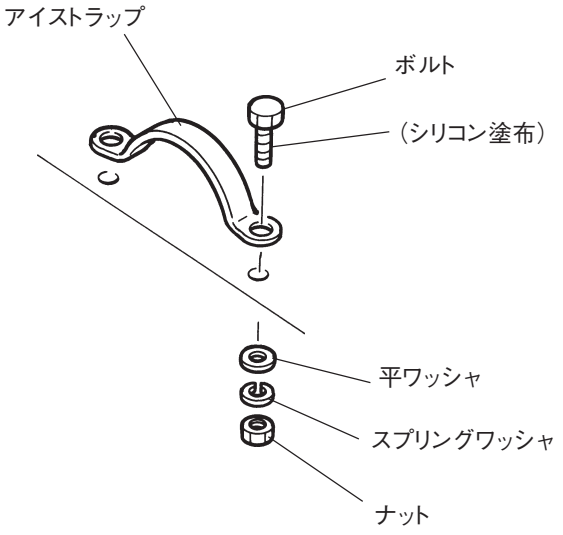
(5) M8の長いボルト ❸ でヒンジベースアップとロワーをナイロンワッシャ ❺ 4枚とナイロンナット ❹ を使って固定します。

(6) ヒンジベースロワー ❷ のスターン側にピン ❾ を差し込み、割ピン ⓫ でロックします。

【3】アイストラップの取り付け

(1) 可倒時にマストを固定する付属のアイストラップ ⓬ 2個をブリッジトップの後部に取り付けます。

(2) ボルトにシリコンを塗布し、ボルトを船体に貫通させ、裏から平ワッシャ・スプリングワッシャ・ナットで固定します。



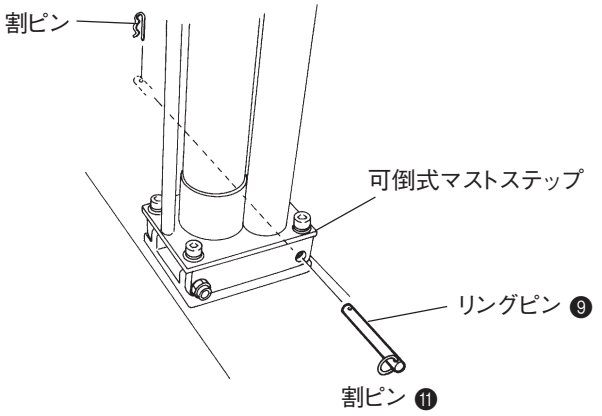
【4】可倒式ヒンジベース装着船のマストとブームの収納

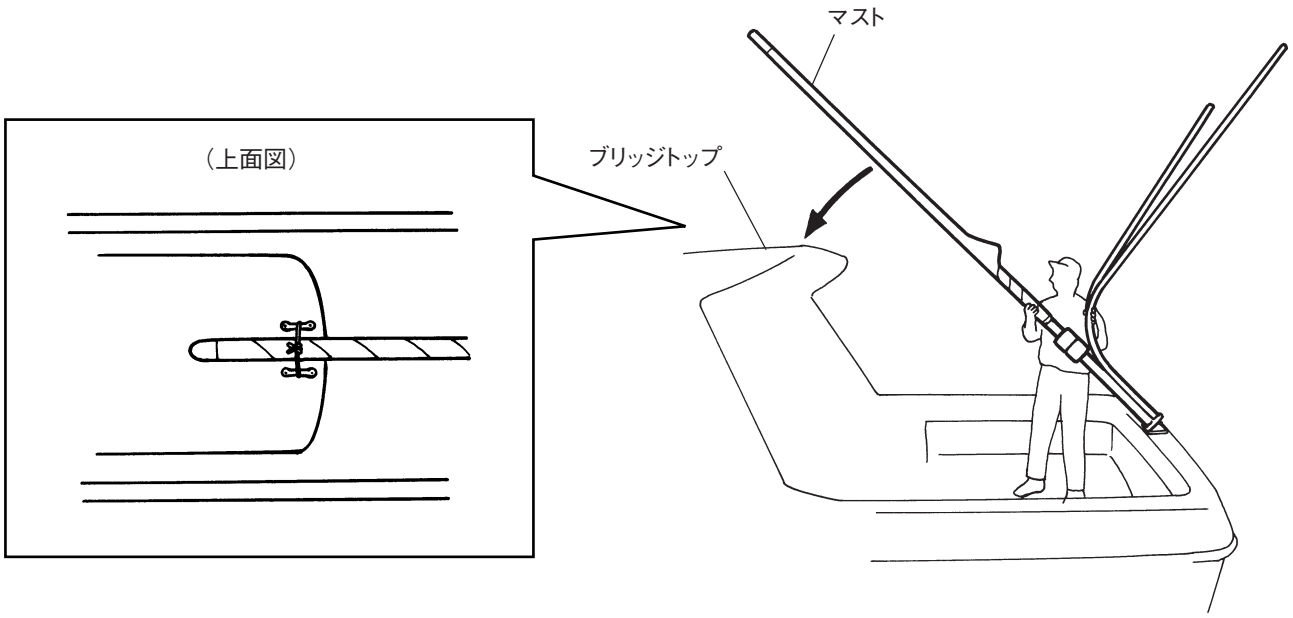
（1）セイルを収納した後、左右ブームのテンショナー ㊳ とサイドステーのテンショナー ㊽ を緩め、フック ㊶㊿ を取り外します。

（2）ブーム ㉔㉕ はマストステップ ③ より抜き、デッキ等に一時ロープ等で固定してください。

（3）可倒式ヒンジベース後部の割ピン ⓫ を外し、ピン ❾ を抜きます。

（4）マストを倒し、ブリッジトップの所に下記の様にアイストラップ2個の間にマストを、ロープ ⓮ で固定します。





【5】可倒式ヒンジベース装着船のマストの引き起こし

（1）ブリッジトップ上にマストを固定しているロープ ⓮ を取り外します。

（2）マストを起こします。

（3）可倒式ヒンジベース後部の穴にピン ❾ を差し込み、割ピン ⓫ で確実にロックします。

（4）両サイドステーロープ及びフォアーステーロープを再度装着します。

（5）デッキ等に保管のブーム ㉔㉕ をマストステップ ③ に各々挿入します。

（6）ブームのJフック ㊶ をアイストラップ ㊵ に取り付けます。

（7）左右ブームと両サイドステー及びフォアーステーロープのテンショナー ㊳ を引き下げ固定します。

【6】シーアンカー （1.0×1.2m） 品番：Q8T-SAS-001-009
（1.2×2.0m） 品番：Q8T-SAS-001-010

船外機&ドライブ船等の艇は風立ち性支援のため、取扱いが簡易な低価格シーアンカーを用意しました。

保　証　書

保証期間 1 年間

（お買い上げ日から）

持込修理

機　種	ワイズギア スパンカー	お買い上げ日	年　　月　　日
お客様	（お名前）　　様	販売店	店名
	ご住所　〒		住所　〒
	TEL		TEL

〒 432-8058 静岡県浜松市新橋町 1103 番地

株式会社 ワイズギア

TEL 053-443-2185　FAX 053-443-2186

〔保証規定〕

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、下記記載内容で無料修理をお約束するものです。保証期間経過後の修理などについて、ご不明の場合は、販売店にお問い合わせください
保証期間内に取扱説明書の注意書にしたがった正常な使用状態で故障した場合には、本記載内容にもとづき無料修理いたします。お買い上げ日から保証期間内に故障した場合は、商品と本書をお持ちいただきお買い上げ販売店に修理をご依頼ください。

1. 保証期間内でも次のような場合は有料修理となります。
（イ）使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
（ロ）お買い上げ後の落下、輸送などによる故障または損傷。
（ハ）火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変、公害などによる故障または損傷。
（ニ）本書のご提示がない場合。
（ホ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
（ヘ）消耗品は有料修理となります。（樹脂部品・ロープ・セイル・リベット・ブロックベアリング等）
2. この保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
3. この商品は持込修理に限らせていただきます。出張修理はいたしません。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

2005-10.0000